



編集後記

編集顧問	町田豊平	小川秋實	秋元成太
	村井 勝	郡健二郎	藤岡知昭
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

一休さんで有名な一休宗純禅師の詩集『狂雲集』に詠われている一句に、「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし」という有名な詩があります。「正月に新しい年を迎えることでまた年齢を1つ重ね、飾られる門松がまるで冥土へと向かう道に築かれた一里塚みたいなものだ」という意味で、新年に浮かれる人々を皮肉り、骸骨のついた杖をつきながら京都の街を闊歩したとの逸話もあるそうです。

本誌3月号の編集後記の締切が年明け早々のため、今この原稿を書いているのが年末の12月31日です。年末にもかかわらず、たくさんの積み残された業務の処理に追われ、まさに今の私にとって、来る新年は「めでたくもありめでたくもなし」です。この原稿が読者の目に触れるのは年度末で、皆さんはさぞお忙しくされているのだろうと想像しながら筆を執っています。

日本では、年末（12月末）と年度末（3月末）の1年間に2回の“区切り”を経験します。「年間予算が4月1日に執行を開始し、3月31日を締め日として年度で清算される」と財政法や地方自治法で定められており（出典：マナー用語辞典）、卒業や退職もそれに合わせているようです。会計年度の始期が4月1日と

なったのは明治時代で、秋に米を収穫した後、最終的に現金の収入から税収を得て予算を計上し執行するまでの時間を考えると、4月1日を年度始めにするのが合理的だったからという理由が1つのようです（出典：NAVAR まとめ）。しかし最近では、12月を決算期にする会社が増えているようです。大学の始業も海外に合わせたほうがよいのではないかと意見もあります。個人的には、桜は新しい門出を祝う象徴で、桜＝入学式・入社式というイメージが定着しており、日本の文化にはそぐわないような気がします。

今年2度目の“区切り”を迎え、研究費などの執行業務や報告書に追われたり、異動による引っ越しの準備がある方もいらっしゃるかもしれません。送別会や学生の卒業式・謝恩会もあり、超多忙な毎日をお過ごしのことと思います。そして新年度を迎えても、しばらく落ち着かない日々が続くことでしょう。新年に1つ年齢（数え年）を重ねることと同様に、新年度には1つ学年が進級する。泌尿器科医として経験を1年積み上げる。責任の重みが1つ増す。退職に1年近づくと。この“門”出は「めでたくもありめでたくもなし」。さてこの年度末、皆さんの想いはいかがでしょうか？

（小島祥敬）

臨床泌尿器科（第72巻 第3号）（通巻858号）
2018年3月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：本体2,800円＋税

2018年年間購読料（増刊号を含む13冊、送料小社負担）	
冊子版	39,840円＋税
電子版（個人）	39,840円＋税
冊子＋電子版（個人）	44,840円＋税

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

（担当：金子・安部）

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。